

長坂ふれあい広場

vol.22

2011/ 夏号

特集

1. 当社における防災準備 ～東日本大震災を教訓に～
2. 輪番休日がスタート
3. 亀の子隊活動日記



NAGASAKA

To be a company
must be there



当社の防災訓練 ～消火訓練・普通救命訓練・防災備品取扱い訓練～

いざという時に適切な行動が行えるよう日頃から災害に対する準備と訓練は大切なものです。当社でも計画的に訓練を実施し災害に対する準備を行っています。今後も継続して実施していきますが、より万全を期すため、また、訓練や備品を充実なものにするため、実際に参加された方の意見を伺ってみました。

Q1 社内の防災訓練に参加してそれぞれの訓練を通じて、役に立ったこと、難しかったことはありましたか？

役に立ったこと

- Sさん**
- 1 消火訓練を体験できて良かった。消火器の取り扱いがわかった。
 - 2 AEDの取り扱いがわかった。AEDを使用した時の対応の仕方がわかった。
 - 3 会社に備品があることがわかった。備品・備蓄品の置き場がわかった。
- Bさん**
- 1 消火訓練を体験できて良かった。消火器の取り扱いがわかった。
 - 2 人工呼吸をするための注意事項や手順がわかった。
 - 3 実際に布担架に乗り階段を登ってみて、色々問題点が見えて改善することが沢山あることがわかった。

難しかったこと

- Sさん**
- 1 特になし
 - 2 心臓マッサージの加減が難しい。
 - 3 布担架は、使いやすいがバランス(運び方)が難しい。階段は、幅が狭かったが運びやすかった。
- Bさん**
- 1 ホースが的に上手く定まらず、難しかった。
 - 2 人工呼吸のやり方が難しかった。
 - 3 発電機の操作は、なかなか難しく1回では覚えきれなかった。

Q2 防災訓練に参加してから少し時間が過ぎていますが、方法や手順など覚えていますか？

- Sさん**
- 1 手順は覚えている。
 - 2 AEDの注意事項を忘れてしまった。
 - 3 手順は、今のところ覚えている。
- Bさん**
- 1 手順は覚えている。
 - 2 AED取り扱いを少し忘れてしまった。
 - 3 手順は、少し覚えている。

Q3 防災訓練を通じて、改善や充実をしたほうが良いと感じたことはありましたか？

- Sさん** 会社で災害が起きた時の避難手引きが欲しい。(最低やらなくてはいけないことが、知りたい) 帰宅する時、帰宅経路までにどこに避難場所があるか知りたい。
- Bさん** 帰宅する時、帰宅経路までにどこに避難場所があるか知りたい。

1 消火訓練



2 普通救命講習



3 防災備品の操作訓練-1



3 防災備品の操作訓練-2



講習や訓練で覚えた知識や手順などは、時間の経過と共に忘れてしまったり、誤った取扱いをしてしまう可能性が高いため、定期的あるいは機会のある毎にリフレッシュ講習などを含めた訓練を積み重ね、瞬時に対応できる体制づくりが大切だと感じました。

輪番休日スタート ～ 木金休みはプラス?それともマイナス? 年代別インタビュー ～

この社内報が皆さんのお手元に届く頃には、木曜、金曜休みが始まり1カ月程過ぎていることと思います。実際に輪番休日がスタートして良い事、困った事いろいろあるのではないのでしょうか?

輪番休日がスタートする前に年代別インタビューを行いました。ここではその内容を紹介しします。さて、インタビューに回答をいただいた皆さんその通りになっているのでしょうか?またこの内容を見て共感される方も多いのでしょうか?

Q1. 休日が変更になって、良い点、困った点を挙げてください。

A1. 良い点



男性

20代

役所に行きやすくなる。土日は、渋滞がなく通勤時間が短くなると期待している。

30・40代

子供の習い事を見に行けるようになる。

50代

病院・役所に行きやすくなる。



女性

20代

病院へ行きやすくなった。

30・40代

いつもは行けない平日ランチに行ける。夫婦で出かけたり、トレーニングに行ける。

50代

平日、家で一人になれてゆっくりできる。

A2. 困った点



男性

20代

友達と休みが合わない。生活のリズムが崩れそう。行事・イベント(花火・お祭りなど)に出かけにくくなる。

30・40代

子供・友達と休みが合わない。奥さんに休みがなくなる感じがする。

50代

家族との時間が取り難くなる。生活のリズムが崩れるので困る。



女性

20代

土日の予定を変更しないと行けなくなった。生活のリズムが崩れるので困る。

30・40代

子供と休みが合わない。9月から子供と生活リズムが違い不安。家族で一緒になる時間が少なくなる。

50代

土日の特売日に行けなくなった。家族の昼食、(土日分)の支度を前もって準備しなくては行けない。生活のリズムが崩れるので困る。

Q2. 困った点は、どのように解決しようと思いますか?

20代

友達の休みに合わせる。夜、一緒に食事に行く。

30・40代

実際に生活しながら考える。

50代

簡単に準備できる料理を考える。

Q3. 平日の休みをどのように活用しようと考えていますか?



男性

20代

旅行に行く(安くて、道路が空いている気がする。)

30・40代

病院へ行きやすくなる。

50代

一人でゆっくりできそう。家事の時間が増えるかも?



女性

20代

平日休みの友達と遊びやすくなる。

30・40代

夫婦で旅行に行きます。

50代

本を読んだり、ガーデニングに時間を費やしたい。

皆さん生活のリズムが崩れるのではないかとといった不安や、子供さんとの休みが合わないことで、家族と一緒にいる時間や会話の不足などを心配する声もありましたが、短期間でもあるのでメリットを最大限に生かし、前向きに解決方法を見出し、ていこうという意気込みが感じられました。また、実際に木曜、金曜休みをどのように過ごされたかお聞かせ下さいね。



亀の子隊活動日記

～ 5月15日 晴れ 参加者16名 ～

当社ではCSRの一環として2006年8月に環境ボランティアサークル亀の子隊の賛助隊員に登録いたしました。それ以来、現在までの5年間に10回のクリーンアップ活動で延べ64名の社員やその家族・友人等が参加してきました。今回は過去最多となる参加者16名を記録した10回目の活動を参加者のインタビューも交えて報告します。



今回参加したメンバーの中から、杉山真悟さん・伊吹美香さんにそれぞれ感想を聞いてみました。

Q2. 参加する前はどのようなイメージがありましたか？

杉山さん：場所も知らず、またどのくらい時間がかかるのかも知りませんでした。ゴミを拾えばいい?って思っていました。

伊吹さん：場所がどこか判りませんでした。また亀の子隊の仕組みも知りませんでした。

Q4. ゴミに対しての考えに変化はありましたか？

杉山さん：流れ着くゴミを見て、どこから来たんだろう?と思ったり、企業の空箱が流れ着いていたのには驚きました。

伊吹さん：少し意識が変わりました。分別をしっかりとやろうと思いました。注射器が落ちていることもあると聞いていたので、怖かったです。



環境ボランティア亀の子隊
<http://www.kamenoko.org/>

Q6. その他にエピソードはありますか？

杉山さん：帰りにスイーツを食べに行きました。牛乳屋さん(特産・直産店)へ行きました。

伊吹さん：6人でアサリ拾いをしました。

Q1. 参加したきっかけは？

杉山さん：友達に誘われました。
伊吹さん：

Q3. 参加しての感想はいかがですか？

杉山さん：面白く、達成感があり気持ち良かった。

伊吹さん：ほかの会社の人や一般の子供たちと一緒に活動することを知らなかったのので、ビックリしました。

Q5. また参加したいと思いますか？

杉山さん：予定が合えば参加します。5月初参加！6月は、4人で参加しました。

伊吹さん：予定が合えば参加します。次回参加する時は、友達を誘って参加します。もっと近くでゴミ拾いがあれば、そちらも参加したいです。



家庭とは違ったゴミや、流れ着くゴミの量や種類が様々なので驚くことばかりでしたが、楽しみながらたくさんゴミを拾って頂き、大変お疲れ様でした。今回の参加をきっかけに友達の輪が広がり、亀の子隊賛助隊員が少しずつ増えていく事は、とても素晴らしい事だと思います。また、帰りにおいしいスイーツのお店やアサリ拾いなど、活動後の楽しみを見つけれられましたね。

杉山さんお勧めのお店

～スイーツ&ジェラテリア Baroque(パロック)



住所 / 〒441-3612 愛知県田原市高木町中畑下112-1
TEL&FAX / 0531-37-0053 イートイン可(26席) 駐車場 10台まで
営業時間 / 10:00~18:00
※閉店時間は季節によって異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。
定休日 / 毎週火曜日(祝は翌日)

スイーツ&ジェラテリア「Baroque(パロック)」さんでは、自営農場デイリーパラダイスにてパロック音楽(1/f ゆらぎ)の中で育てられた牛たちの新鮮な生乳を使用したスイーツ・ジェラートをご提供しているそうです。



役員就任あいさつ

このたび、常務取締役役に就任致しました石井でございます。

このような大役を仰せつかるには、まことに微力でございますが、先輩各位ならびに社員の皆様のご助言、ご協力をおおぎ、業務に邁進してゆく決意でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、役員就任にあたり、一言抱負を申し上げたいと思います。

近年、わが社を取り巻く経営環境を振り返ってみますと、リーマンショックに端を発した世界同時不況、東日本大震災による大規模な減産とかつてない事態を経験してきました。現在、業績は回復基調にありますが、欧米諸国の財政危機による円高や政治不安など先行きにも不透明感があり決して楽観視できるものではないと感じております。その意味からも再び初心に帰り、社運の隆盛に向けて更なる挑戦を重ねたいと考えております。皆様方のご理解、ご協力を心からお願い申し上げ、就任のごあいさつと致します。

常務取締役 石井 保彦

表紙 デザイン公募

社内報も2006年に創刊して6年目に入りました。今後もみんなで創る楽しみを味わい、より親しみや季節感のある社内報にイメージアップすることをねらいとして、表紙のデザインの公募を行います。

■ 募集内容 下記2項目の募集を行います。

区分	内容	備考
①	『長坂ふれあい広場』文字自体のデザイン (A5サイズ目安)	名称は変更しません
②	四季を通じて募集します。今回は「秋」をイメージした写真 (A5サイズ目安)	—



■ 応募方法

- (1) A4タテ紙面への配置を前提とし、文字はデジタル・手書きどちらでも可。写真はカラーの印画紙でも良いが、採用時は何らかのデータで提出をお願いします。
- (2) 応募先 管理部総務課 (大久保) (3) 応募期限 2011年10月28日(金)
- (4) 賞品 採用された方には賞品、応募された方全員に粗品を差し上げます。



試作部 生産管理課 石井 孝典

皆さん夏の風物詩と言えは何を思い浮かべますか? 花火、風鈴等、色々あると思いますが、金魚を思い浮かべる人も少なくないのではと思います。我が家では現在、金魚を3匹飼っています。なぜ金魚を飼うようになったかと言いますと、娘がGWに金魚すくいをやり、2匹ゲットしてきたのがきっかけでした。しかし、2匹とも私の不甲斐なさでこの世を去って行きました。

金魚を飼う上で最も重要なのは『水質管理』だと、あるWEBサイトで知りました。具体的には、『金魚を飼う=バクテリアを飼う』ということ。水槽に砂利を敷き、バクテリアを入れて2週間ほど置いて(増殖させ)新たに金魚を3匹購入しました。このやり方で今のところ元気に育っています。今では毎朝、娘たちは金魚にえさをあげるのが日課となり、喜んでます。私は残業で遅くなったとき、水槽を眺めて癒されています。今年の我が家の夏の風物詩ですね。

今回は、試作部 試作1課 鈴木竜一さん お願いします。



編集後記

ある編集者のつぶやき

突然ですが、私が社内報の企画・編集に携わってきたの率直な感想を申し上げます、「文章」を書いたり整理するのは本当に難しいです。しかも限られた時間でのアウトプットとなると尚更です。書けば書くほど日本語から遠ざかり、焦れば焦るほど土壺にはまります。期限がせまってくると頭の中は原稿で一杯、夜には自然と体がお酒を求めてきます。そんな試練を経て社内報を編集していますが、目標は、社内報を『職場のコミュニティの場』として活性化させることです。職場での明るい話題が少しでも多くなり、みんなで創る喜びが味わえるように毎号進化させていきたいものです。社内報が創刊から早6年が経ち、そろそろ目先を変えてもいいのではないのでしょうか? 『表紙デザイン公募』のご案内をしましたので皆さんご協力をお願いします。